喻意寓
筆畫馬

假名手綱忠臣鞍

全

へ13
2056
23

へ13 特
2056
23

稗史細精年競奇只因戯語
立端基閉窓春雨生眠日寒
室秋宵結問時屡覽偏憐忠
義志沉嗑淡惡姦曲姿耳熟
嬰兒知風路自異爹娘童話
痴

醒世老人題

京傳

京都帝國大學圖書

假多手綱忠臣鞍序

國字盛衰記第二齣に馬の鞦がのびい鞍くされく
怪我あるかいなくなくのごとはきい意の駒はるびい抑人生
世とそぐること隙行駒のそるごとく駒止石もうごかうたい
光陰の早馬なり人間萬事塞翁が馬乃後足も立者と
なる日あり立者又おひとみとなる時あり曲馬の虚名馬
市の薄利豈益あんやそこでちんふん韓退之が千里
乃馬ゝ伯樂なくんばたとやうげく誰ゝと讀るかか
手木腰付馬の善惡邪正人の忠ゝ侶ゝとあす嗚呼
佐ゝ木ゞ金言宜哉ゝく

寛政十三辛酉正月　山東京傳誌

塞翁馬

韓天壽 図画

隨園詩話

康熙字典

佩文韻府

塩

か
桃
桃

鶴岡

高
平

塩
塩

波

福帳
物出帳
木場帳
天川屋

忠臣水滸傳後編 五冊 出来

近松傳奇国性爺西湖柳 五冊 未春出版

仙鶴堂鐫板

醒世老人山東子著
忠臣水滸傳前編 全部五卷 當年出来發行
同後編 全部五卷出来
前後十卷ニテ第一回ヨリ第十一回マデ不殘コロフ

山東翁著
月窓新語 全部五卷 艱苦とゝけうる始終を記す
来戌春出来 唐土もこゝろ〜のき奇談ゝ

繪本武王軍談 北尾紅翠齋筆
全部五冊出来

世諺百首談 全部ふくらひつゝめてこゝにそのおもしろをたゞひすぐ〜たゞ
二冊 をあつめてこゝに多くの書なり
出来

戯子名所圖會 全部三冊 南亭ハ増補いろ〜に仕ハ
曲亭馬琴子著 出来 歌川豊國画

78